

記者発表（発表・資料配布）				
月／日（曜）	担当課室 （担当係名）	ダイヤルイン （内線）	発表者名 （担当名）	その他 発表配布先
8／19（水）	農林水産技術総合センター （農業技術センター）	0790-47-2414	前川 和正 （杉本 琢真）	丹波県民局 但馬県民局 県政記者クラブ

酒米新品種「Hyogo Sake 85」の栽培面積が拡大

1 概要

酒米新品種「Hyogo Sake 85」は海外輸出向け用として育成されました（平成 29 年 11 月品種登録出願）。現在、丹波市を中心に、新温泉町で高品質、安定生産に向け取り組んでいます。

酒蔵からの評価が高く、令和元年度の栽培面積は 1.7ha でしたが、本年度は 8.0ha まで拡大しています。本年度に生産された酒米は県内 10 社の酒蔵で醸造される予定となっています。

2 酒米新品種「Hyogo Sake 85」の特徴と栽培面積

（1）特徴

成熟期は県北部で栽培されている「五百万石」よりも 3 日早い極早生種。

稈長は「五百万石」とほぼ同等、倒伏は「五百万石」より強い。

いもち病抵抗性は「五百万石」より強い。

高温登熟耐性が高く、温暖化条件下でも白未熟粒の発生が少ない。

玄米の心白が大きく、酒造特性は、溶けが良く、粕が少なく、香りが高い。

高度精白しなくても、良質なお酒ができる。

（2）栽培地域

丹波市 6.0ha（5 生産者）

新温泉町 2.0ha（4 生産者）

3 令和 2 年度の「Hyogo Sake 85」使用（予定）の酒蔵

香住鶴株式会社（美方郡香美町）

山名酒造株式会社（丹波市）

西山酒造場（丹波市）

狩場一酒造（丹波篠山市）

株式会社本田商店（姫路市）

江井ヶ嶋酒造（明石市）

泉酒造（神戸市東灘区）

小山本家酒造（神戸市）

神戸酒心館（神戸市）

都美人（南あわじ市）



酒米の玄米の様子

上段：Hyogo Sake 85

下段：五百万石

4 今後の計画

平成 31 年 4 月にオープンした酒米研究交流館などを通じて、県内の酒蔵に品種情報や醸造特性の情報を提供し、県農産園芸課、JA 全農などの協力のもと、さらに使用量を伸ばし、栽培面積の拡大を進めていきます。

[参考] 酒米新品種「Hyogo Sake 85」

「Hyogo Sake 85」を使用した日本酒の輸出を目指し、香港、EU などに酒どころ“兵庫”をアピールするため、酒米としては初めて、品種名をローマ字表記として品種登録を申請しています。